

国内自転車生産・輸出入状況（平成28年1～12月）

1. はじめに

このレポートは、我が国の自転車生産及び輸出入状況を総合的に分析することにより、我が国自転車市場の動向を明らかにすることを目的としている。まず経済産業省の生産動態統計を活用し、国内の自転車生産企業の生産状況を把握したうえで、出荷・在庫状況を含めた総合的な生産活動状況について説明し、更に時系列的な推移を示す。続いて、現在わが国の自転車市場においては輸入車が大きな割合を占めているため、財務省貿易統計を用い車種別及び時系列的輸入状況を明らかにし自転車市場の趨勢をつかんだうえで、生産状況と併せ我が国自転車市場の動向を包括的に解説する。最後に、中古車が主体となっている我が国の自転車輸出状況について簡単に言及する。

平成28年1～12月期の生産状況は、「電動アシスト車」の生産が増加したため引き続き全体で前年同期を上回っている。一方輸入状況については、総輸入台数、総輸入金額ともに減少し、輸入平均単価も下落を示している。これらの結果、生産台数に輸入台数を加えた国内向け数量は7,793,154台となり、過去11年間で最低となっている。

2. 我が国の自転車生産

2-1 平成28年1～12月の生産状況の概要

経済産業省生産動態統計調査によると、平成28年1～12月の我が国の完成自転車生産台数は943,769台、完成自転車生産金額は540億2,400万円であった。これらを前年同期と比較すると、総生産台数は5.1%増、総生産金額は15.8%増と台数・金額とも増加している。また平成28年1～12月の完成自転車生産平均単価は57,243円となっており、前年同期の51,943円から10.2%上昇した。これらの模様を表1に示す。

表1 平成28年1～12月の我が国自転車生産 前年同期との比較

	総生産台数	総生産金額(百万円)	平均単価(円)
平成28年1～12月	943,769	54,024	57,243
平成27年1～12月	898,095	46,650	51,943
変化	45,674	7,374	5,300
変化%	5.1%	15.8%	10.2%

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成27年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成28年1～12月の車種別の生産状況を前年同期と比較したものが表2である。「電動アシスト車」だけが大きく増加し、「軽快車」と「その他」は減少していることがわかる。

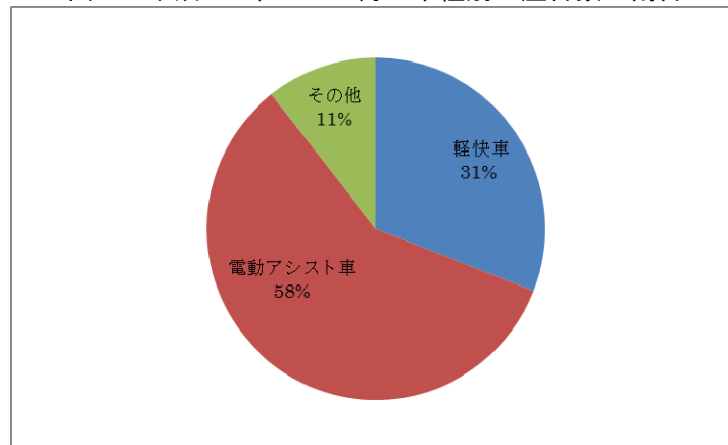
表2 車種別生産状況 平成28年1～12月と平成27年1～12月との比較

1～12月	平成28年		平成27年		変化			
	台数	金額 (百万円)	台数	金額 (百万円)	台数	%	金額 (百万円)	%
軽快車	291,553	7,522	320,461	7,955	-28,908	-9.0	-433	-5.4
電動アシスト車	552,315	43,780	464,800	35,218	87,515	18.8	8,562	24.3
その他	99,901	2,721	112,834	3,477	-12,933	-11.5	-756	-21.7
計	943,769	54,024	898,095	46,650	45,674	5.1	7,374	15.8

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成27年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

表2を基に平成28年1～12月の車種別の生産台数の割合をグラフで示したものが図Aである。「電動アシスト車」が58%を占め、次いで「軽快車」が31%を占めている。

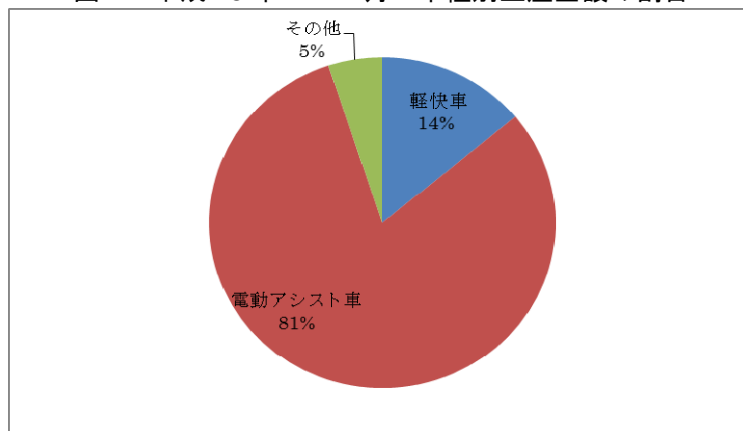
図A 平成28年1～12月 車種別生産台数の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

また同様に、表2を基に平成28年1～12月の車種別の生産金額の割合をグラフで示したものが図Bである。「電動アシスト車」が81%を占めている。

図B 平成28年1～12月 車種別生産金額の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に車種別の生産平均単価について、平成28年1～12月と平成27年1～12月とを比較した表3を示す。「軽快車」と「電動アシスト車」が上昇している一方で、「その他」は下落している。

表3 車種別生産平均単価 平成28年1～12月と平成27年1～12月との比較

車種	平成28年1～12月 生産平均単価(円)	平成27年1～12月 生産平均単価(円)	変化(円)	変化(%)
軽快車	25,800	24,824	976	3.9
電動アシスト車	79,266	75,770	3,496	4.6
その他	27,237	30,815	-3,578	-11.6
計	57,243	51,943	5,300	10.2

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成27年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

月毎の「電動アシスト車」の生産台数・金額・平均単価を調べてみると表4の通りとなる。平均単価は7月から9月にかけて前年同月を下回っていたが、その後10月以降再び前年同月比上昇に転じたことが示されている。

表4 「電動アシスト車」の月毎の生産状況 平成28年と平成27年との比較

	平成28年			平成27年			生産台数 の変化 (台)	生産金額 の変化 (百万円)	平均単価 の変化 (円)
	生産台数 (台)	生産金額 (百万円)	平均単価 (円)	生産台数 (台)	生産金額 (百万円)	平均単価 (円)			
1月	41,742	3,430	82,171	37,302	2,547	68,281	4,440	883	13,891
2月	45,270	3,612	79,788	36,666	2,837	77,374	8,604	775	2,414
3月	53,414	4,259	79,736	44,783	3,172	70,830	8,631	1,087	8,905
4月	48,027	3,917	81,558	44,113	3,380	76,621	3,914	537	4,937
5月	47,090	3,845	81,652	38,962	3,021	77,537	8,128	824	4,115
6月	51,912	4,229	81,465	40,324	3,149	78,092	11,588	1,080	3,372
7月	46,475	3,517	75,675	35,305	2,775	78,601	11,170	742	-2,926
8月	44,848	3,524	78,577	32,068	2,570	80,142	12,780	954	-1,566
9月	45,918	3,448	75,090	37,155	2,864	77,082	8,763	584	-1,992
10月	46,853	3,581	76,431	41,370	3,122	75,465	5,483	459	965
11月	40,040	3,156	78,821	38,747	2,776	71,644	1,293	380	7,177
12月	40,726	3,262	80,096	38,005	3,006	79,095	2,721	256	1,001
1～12月	552,315	43,780	79,266	464,800	35,218	75,770	87,515	8,562	3,496

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成27年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

2-2 我が国自転車生産企業の総合的な生産・出荷・在庫状況

平成28年1～12月における、「生産」「受入」「出荷(販売及びその他)」、そして「月末在庫」も含んだ総合的な生産・販売状況について、前年同期と比較したものが表5である。

表5 我が国自転車生産企業の生産・出荷・在庫状況
平成28年1～12月と平成27年1～12月との比較

車種	生産		受入 (台)	出荷			12月末在庫 (台)
	台数	金額(百万円)		販売		その他 (台)	
				台数	金額(百万円)		
平28.1～12 軽快車	291,553	7,522	682,367	681,757	11,070	292,975	84,913
平27.1～12 軽快車	320,461	7,955	733,151	710,753	11,453	350,159	85,493
変化 %	-9.0	-5.4	-6.9	-4.1	-3.3	-16.3	-0.7
平28.1～12 電動アシスト車	552,315	43,780	394,355	551,009	40,769	390,198	38,713
平27.1～12 電動アシスト車	464,800	35,218	335,335	467,867	33,167	334,354	28,279
変化 %	18.8	24.3	17.6	17.8	22.9	16.7	36.9
平28.1～12 その他	99,901	2,721	435,182	398,077	9,082	133,113	33,224
平27.1～12 その他	112,834	3,477	418,026	402,789	9,174	132,248	29,289
変化 %	-11.5	-21.7	4.1	-1.2	-1.0	0.7	13.4
平28.1～12 全車種計	943,769	54,024	1,511,904	1,630,843	60,917	816,286	156,850
平27.1～12 全車種計	898,095	46,650	1,486,512	1,581,409	53,794	816,761	143,061
変化 %	5.1	15.8	1.7	3.1	13.2	-0.1	9.6

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成27年数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

「受入」台数についてみると、平成28年1～12月の全車種の「受入」台数は平成27年1～12月の「受入」台数に比べ1.7%増加した。但し「軽快車」は6.9%減少している。

次に「出荷・販売」台数についてみると、平成28年1～12月の全車種の「出荷・販売」台数は平成27年1～12月のそれに比べ3.1%増加した。「電動アシスト車」が大きく増加した一方で「軽快車」と「その他」は減少している。

「出荷・販売」金額については、全車種の「出荷・販売」金額は13.2%増加した。やはり「電動アシスト車」が大きく増加した一方で「軽快車」と「その他」は減少している。

平成28年1～12月の全車種の「出荷・その他」台数は、平成27年1～12月のそれに比べ0.1%減少した。「軽快車」が減少した一方で「電動アシスト車」と「その他」が増加している。尚、「出荷・その他」とは受託生産品を委託生産業者へ出荷する等したものである。

「月末在庫」については、平成28年12月の全車種の「月末在庫」台数は156,850台で、前年同月と比べ9.6%増加した。

2-3 1～12月の生産状況の過去11年間の推移

表6に平成18年から平成28年まで過去11年間の毎年1～12月の我が国の自転車生産、出荷及び12月末在庫台数の推移を示す。

表6 我が国自転車生産企業の毎年1～12月の自転車生産・出荷
及び12月末在庫の過去11年間の推移

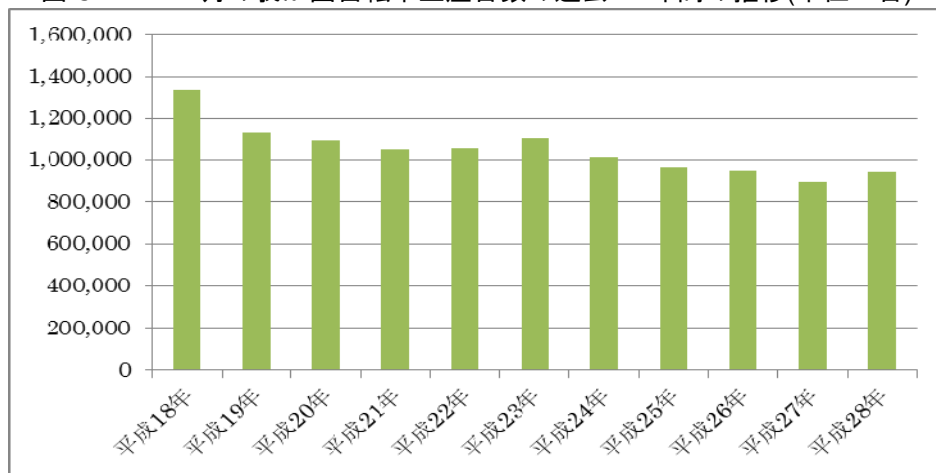
1～12月	生産			出荷			12月末在庫 台数(台)
	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	台数(台)	金額 (百万円)	平均単価 (円)	
平成28年	943,769	54,024	57,243	1,630,843	60,917	37,353	156,850
平成27年	898,095	46,650	51,943	1,581,409	53,794	34,017	143,061
平成26年	951,548	47,111	49,510	1,692,522	53,464	31,588	156,625
平成25年	965,954	42,901	44,413	2,013,626	55,647	27,635	214,539
平成24年	1,012,314	40,282	39,792	2,662,605	59,321	22,279	231,240
平成23年	1,101,666	42,786	38,838	3,012,322	65,969	21,900	241,321
平成22年	1,056,951	36,956	34,965	3,038,180	58,087	19,119	208,140
平成21年	1,049,469	34,435	32,812	3,098,458	56,257	18,156	219,329
平成20年	1,094,932	28,849	26,348	3,503,464	53,461	15,259	215,790
平成19年	1,135,606	25,205	22,195	3,616,043	47,819	13,224	211,533
平成18年	1,334,512	25,616	19,195	3,924,321	47,484	12,100	214,826

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成27年以前の数値は改定値）、
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成28年1～12月の「生産台数」は、過去11年間で10番目となっている。一方、「生産金額」は過去11年間で最高となっている。これらの事から「生産平均単価」は過去11年間で最高である。また平成28年1～12月の「出荷台数」は過去11年間で10番目、「出荷金額」は過去11年間で2番目であった。「出荷平均単価」は過去11年間で最高となっている。また「生産平均単価」と「出荷平均単価」とを比べると「生産平均単価」の方が11年間一貫して高くなっている。「12月末在庫台数」は156,850台で、過去11年間で9番目となっている。

表6を基に平成18年から平成28年までの過去11年間の毎年1～12月の生産台数の推移をグラフで示したものが図Cである。

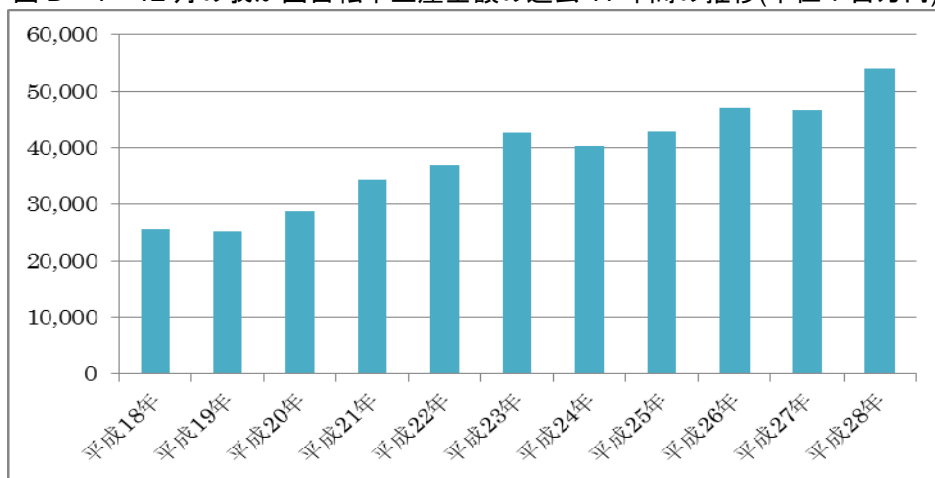
図C 1～12月の我が国自転車生産台数の過去11年間の推移(単位：台)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に、表6を基に平成18年から平成28年までの過去11年間の毎年1～12月の生産金額の推移をグラフで示したものが図Dである。生産金額は増加傾向にあると言って良いと思われる。

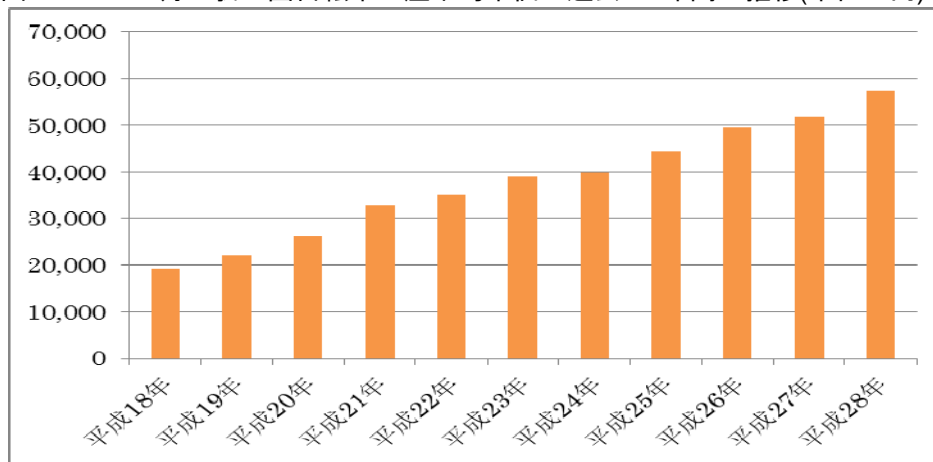
図 D 1～12月の我が国自転車生産金額の過去11年間の推移(単位：百万円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に、表6を基に平成18年から平成28年までの過去11年間の毎年1～12月の生産平均単価の推移をグラフで示したものが図Eである。生産平均単価は上昇傾向にあることがわかる。

図 E 1～12月の我が国自転車生産平均単価の過去11年間の推移(単位：円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に、月毎の総生産台数の過去11年間の推移を表7に示す。

表7 月毎の総生産台数の過去11年間の推移（単位：台）

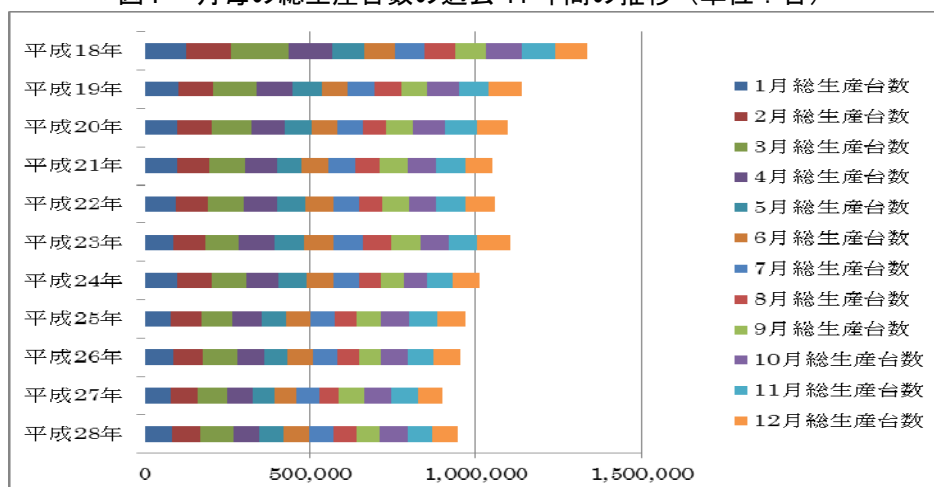
年	1月総生産台数	2月総生産台数	3月総生産台数	4月総生産台数	5月総生産台数	6月総生産台数
平成28年	82,586	88,069	94,670	81,062	72,186	78,781
平成27年	78,891	81,242	89,722	75,857	66,218	68,133
平成26年	84,512	93,408	100,416	83,216	72,121	74,255
平成25年	79,022	92,667	93,062	88,877	75,906	71,711
平成24年	96,874	105,350	106,202	95,001	85,528	83,915
平成23年	86,445	98,081	98,935	107,181	90,542	92,009
平成22年	93,923	99,424	106,524	98,097	87,516	86,269
平成21年	96,944	99,314	106,639	94,506	76,287	80,900
平成20年	97,728	104,912	121,903	96,456	82,921	78,520
平成19年	99,537	108,413	130,721	108,017	86,039	81,714
平成18年	124,909	133,470	177,599	128,017	97,944	93,522

年	7月総生産台数	8月総生産台数	9月総生産台数	10月総生産台数	11月総生産台数	12月総生産台数	総生産台数
平成28年	71,533	69,022	71,472	82,749	76,539	75,100	943,769
平成27年	64,647	62,481	74,354	82,311	79,144	75,095	898,095
平成26年	74,981	62,167	68,705	81,603	78,727	77,437	951,548
平成25年	72,325	66,889	74,392	82,781	84,937	83,385	965,954
平成24年	74,820	65,045	68,721	73,476	73,695	83,687	1,012,314
平成23年	83,200	86,553	88,460	86,528	87,020	96,712	1,101,666
平成22年	75,897	72,056	77,555	82,694	86,498	90,498	1,056,951
平成21年	80,068	76,206	81,360	88,312	85,103	83,830	1,049,469
平成20年	76,552	70,488	80,661	95,816	98,763	90,212	1,094,932
平成19年	79,147	79,509	81,679	91,745	93,341	95,744	1,135,606
平成18年	87,738	94,248	94,359	105,347	99,636	97,723	1,334,512

出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
平成27年以前の数値は改定値

表7の月毎の総生産台数の過去11年間の推移をグラフにより示したものが図Fである。各月、比較的均等に生産が行われている様子がわかる。

図F 月毎の総生産台数の過去11年間の推移（単位：台）



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に1～12月の車種別の生産台数の過去11年間の推移を表8に示す。

表8 1～12月の車種別生産台数の過去11年間の推移（単位：台）

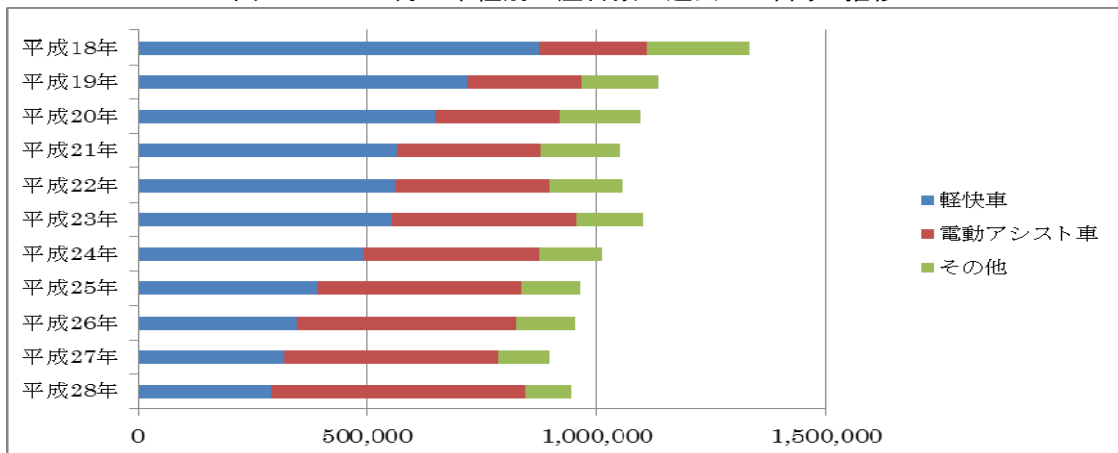
年	軽快車	電動アシスト車	その他	計
平成28年	291,553	552,315	99,901	943,769
平成27年	320,461	464,800	112,834	898,095
平成26年	345,825	479,404	126,319	951,548
平成25年	392,297	443,782	129,875	965,954
平成24年	492,463	383,196	136,655	1,012,314
平成23年	553,185	403,208	145,273	1,101,666
平成22年	562,515	335,576	158,860	1,056,951
平成21年	566,983	311,337	171,149	1,049,469
平成20年	647,300	274,475	173,157	1,094,932
平成19年	719,554	247,899	168,153	1,135,606
平成18年	876,094	236,494	221,924	1,334,512

平成23年から従来の「子供車及び幼児車」、「ミニサイクル」、「マウンテンバイク」、「特殊車」を統合し、「その他」と名称変更。平成18年から平成22年までの「その他」の数値は、これら4区分の合計数値。

出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表8に示した1～12月の車種別の生産台数の過去11年間の推移をグラフにより示したものが図Gである。「軽快車」が減少し「電動アシスト車」が増加している様子が示されている。

図G 1～12月の車種別生産台数の過去11年間の推移



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3. 我が国の自転車輸入

以下に輸入状況を示していくが、我が国の輸入における関税番号及び車種については次の通り分類されている。尚、電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、「その他のモーターサイクル」の中に含まれている。しかし「その他のモーターサイクル」には、関税区分上の上位各区分に該当しない各種モーターサイクルや電動オートバイ等も含まれているので注意が必要である。

表9 輸入における車種区分 関税番号

関税番号／品名区分	車種
8712.00100 マウンテンバイク	・MTB(Vブレーキ・Diskブレーキ装着車を含む) ・クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ミニサイクル ・小径折りたたみ車 ・BMX
8712.00218 幼児車	・幼児車(12～16吋) ・乗用玩具(12吋二輪車) ・一輪車(12～16吋)
8712.00219 子供車	・子供車(18～24吋) ・Jr.MTB(18～24吋) ・一輪車(18～24吋)
8712.00291 軽快車	・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋)
8711.90000 その他のモーターサイクル	・その他のモーターサイクル、補助原動機付きの自転車、及びサイドカー。電動アシスト車がこの区分の中に含まれる

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

3-1 平成28年1～12月の輸入状況の概要

表10は、平成28年1～12月の「その他のモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入について、前年同期と比較しながら示したものである。総台数は6,849,385台となり前年同期から3.8%減少した。一方、総CIF金額は765億4,493万4千円となり前年同期比18.0%減少した。これらの結果、平均CIF単価は11,175円となり前年同期比14.7%下落している。

この間のドル円為替レートを見ると、平成27年1～12月の平均レートはUS1\$=JPY121.00であったのに対し、平成28年1～12月の平均レートはUS1\$=JPY108.95(ともに税関長公示レートを参考にした)であり、円高となっている。この為替の動向が、総CIF金額や平均CIF単価の減少・下落の要因の一つとなっているものと思われる。

表10 平成28年1～12月の我が国の自転車輸入 平成27年1～12月との比較 (「その他のモーターサイクル」を含まない)

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
平成28年1～12月	6,849,385	76,544,934	11,175
平成27年1～12月	7,122,444	93,348,703	13,106
変化	-273,059	-16,803,769	-1,931
変化%	-3.8	-18.0	-14.7

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

参考まで平成28年1～12月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の様態を附表に示した。

表 10 附表 参考 平成 28 年 1～12 月の我が国の
「その他のモーターサイクル」の輸入 平成 27 年 1～12 月との比較

	総台数(台)	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価(円)
平成 28 年 1～12 月	98,479	3,066,752	31,141
平成 27 年 1～12 月	51,577	2,181,778	42,301
変化	46,902	884,974	-11,160
変化 %	90.9	40.6	-26.4

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3-2 平成 28 年 1～12 月の車種別輸入状況

表 11 は平成 28 年 1～12 月の我が国の自転車輸入に関し、車種別の状況を示したものである。

表 11 平成 28 年 1～12 月 我が国の車種別自転車輸入

関税番号及び車種	総台数(台)	総 CIF 金額(千円)	平均 CIF 単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	176,823	3,608,670	20,408
8712.00211 ミニサイクル	157,870	2,142,110	13,569
8712.00218 幼児車	538,880	3,674,960	6,820
8712.00219 子供車	1,690,152	14,825,364	8,772
8712.00291 軽快車	2,129,712	19,305,368	9,065
8712.00299 その他	2,155,948	32,988,462	15,301
計	6,849,385	76,544,934	11,175

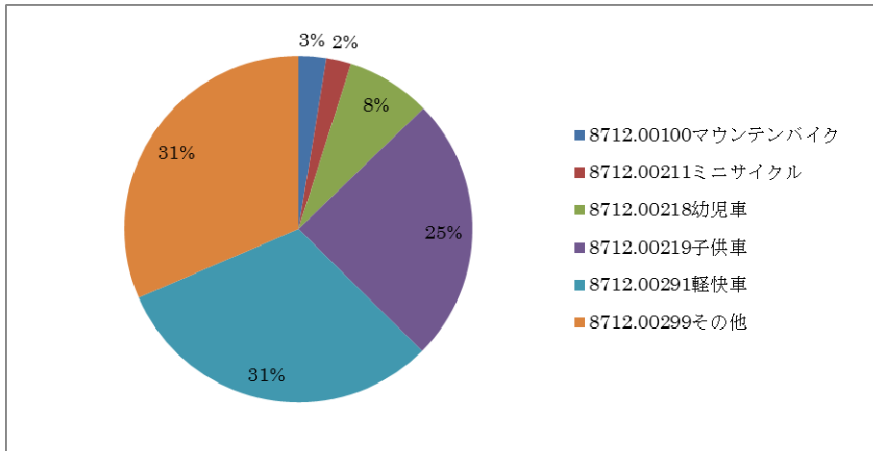
8711.90000 その他のモーターサイクル	98,479	3,066,752	31,141
-------------------------	--------	-----------	--------

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

8712.00100 に分類される「マウンテンバイク」は、平均 CIF 単価が 20,408 円と「その他のモーターサイクル」を除き最も高くなっている。8712.00291 に分類される「軽快車」はこれまで最も台数が多かったが、スポーツ車や外装変速機付軽快車等が含まれる 8712.00299 「その他」に抜かれた。平均 CIF 単価は 9,065 円である。その 8712.00299 「その他」は、台数が最も多くなったほか、総 CIF 金額も各輸入車種区分の中で最も多くなっている。平均 CIF 単価は 15,301 円である。「その他」の輸入台数が「軽快車」を上回ったが、ここ数年の台数の推移に限定すれば、これは「その他」が増えたというより、「軽快車」が減少したため、このような現象が起きていると言ったほうが良い。この模様は後段、表 15 と図 N に示されている。

表 11 を基に、平成 28 年 1～12 月の我が国自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 H である。「その他」が 31%、「軽快車」も 31% を占めている。

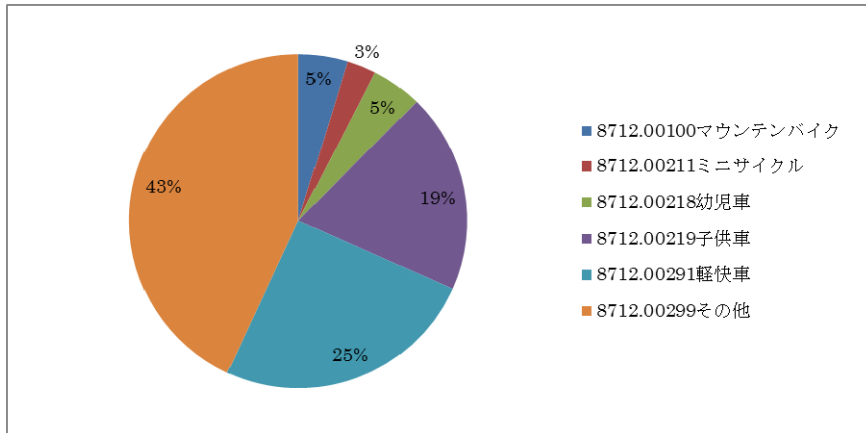
図 H 平成 28 年 1～12 月の我が国自転車輸入 車種別台数割合
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 1 を基に、平成 28 年 1～12 月の我が国自転車輸入について車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 I である。「その他」が 43%、「軽快車」が 25%を占めている。

図 I 平成 28 年 1～12 月の我が国自転車輸入 車種別 CIF 金額の割合
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 2 は平成 28 年 1～12 月の我が国の車種別自転車輸入について前年同期と比較しながら示したものである。

表 1 2 我が国の車種別自転車輸入 平成 28 年 1～12 月と平成 27 年 1～12 月との比較

1～12 月 車種	平成 28 年		平成 27 年		変化 %	
	台数	CIF 金額(千円)	台数	CIF 金額(千円)	台数	CIF 金額
8712.00100 マウンテンバイク	176,823	3,608,670	219,152	5,542,567	-19.3%	-34.9%
8712.00211 ミニサイクル	157,870	2,142,110	142,150	1,952,264	11.1%	9.7%
8712.00218 幼児車	538,880	3,674,960	520,523	4,052,527	3.5%	-9.3%
8712.00219 子供車	1,690,152	14,825,364	1,675,477	17,563,032	0.9%	-15.6%
8712.00291 軽快車	2,129,712	19,305,368	2,318,196	24,380,608	-8.1%	-20.8%
8712.00299 その他	2,155,948	32,988,462	2,246,946	39,857,705	-4.0%	-17.2%
計	6,849,385	76,544,934	7,122,444	93,348,703	-3.8%	-18.0%
平均単価(円)		11,175		13,106		-14.7%

8711.90000 その他のモーター サイクル	98,479	3,066,752	51,577	2,181,778	90.9%	40.6%
平均単価(円)		31,141		42,301		-26.4%

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

「ミニサイクル」「幼児車」「子供車」は台数が増加した一方で、「マウンテンバイク」「軽快車」「その他」は台数が減少している。金額面では「ミニサイクル」が増加したが、それ以外の車種は減少している。

3-3 1～12 月の輸入状況の過去 15 年間の推移

表 1 3 は毎年 1～12 月の我が国の自転車輸入の過去 15 年間の推移を示したものである。

表 1 3 毎年 1～12 月の我が国の自転車輸入の過去 15 年間の推移 全車種
(「その他のモーターサイクル」を含まない)

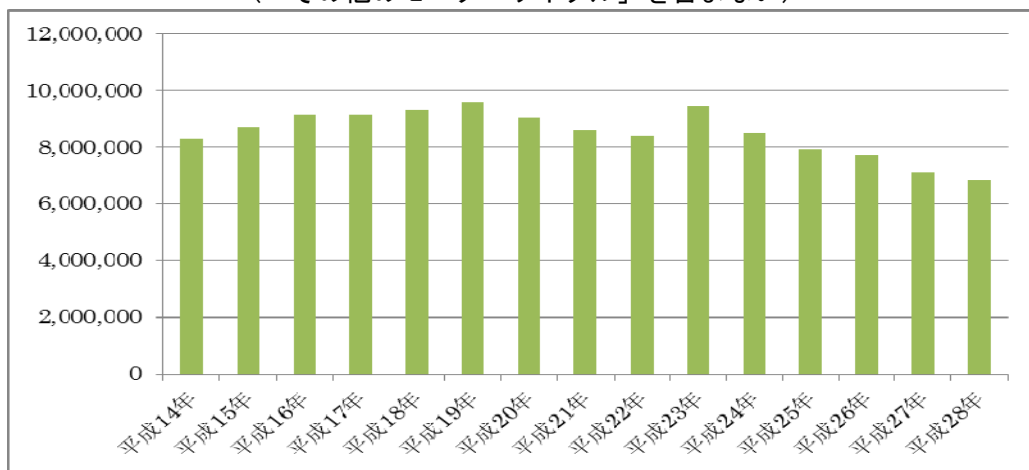
年	総輸入台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価(円)
平成 28 年	6,849,385	76,544,934	11,175
平成 27 年	7,122,444	93,348,703	13,106
平成 26 年	7,734,364	86,330,265	11,162
平成 25 年	7,932,395	80,110,588	10,099
平成 24 年	8,499,444	72,777,306	8,563
平成 23 年	9,450,592	74,541,580	7,888
平成 22 年	8,401,946	64,891,050	7,723
平成 21 年	8,621,717	70,434,052	8,169
平成 20 年	9,033,773	78,142,462	8,650
平成 19 年	9,603,314	74,875,361	7,797
平成 18 年	9,339,172	65,768,000	7,042
平成 17 年	9,143,819	58,146,512	6,359
平成 16 年	9,138,411	54,913,763	6,009
平成 15 年	8,702,626	55,148,720	6,337
平成 14 年	8,326,093	57,030,476	6,850

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

平成 28 年 1～12 月の総輸入台数は、過去 15 年間で最少である。一方、平成 28 年 1～12 月の総 CIF 金額は過去 15 年間で 5 番目の多さである。平均 CIF 単価は 11,175 円となり、過去 15 年間で 2 番目となっている。

表 1 3 を基に平成 14 年から平成 28 年までの過去 15 年間の毎年 1～12 月の輸入総台数の推移をグラフにより示したものが図 J である。

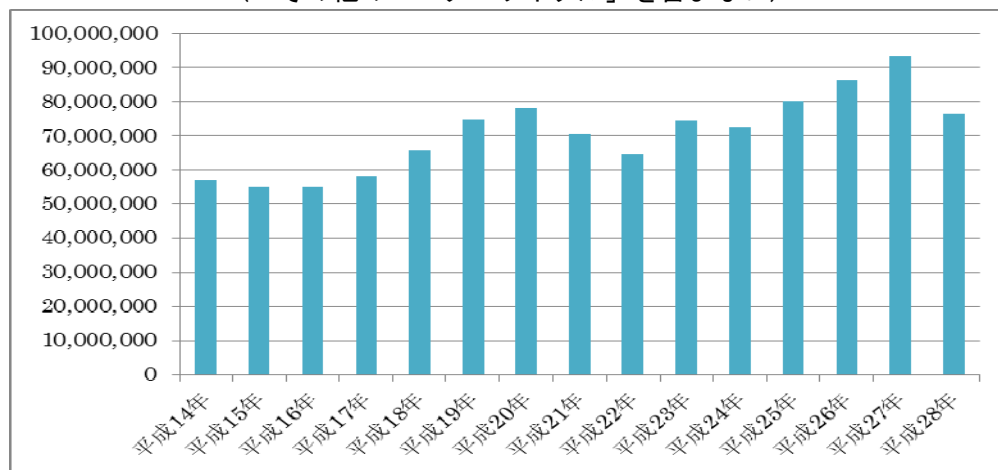
図 J 毎年 1～12 月の我が国自転車輸入総台数の過去 15 年間の推移(単位：台)
(「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 3 を基に平成 14 年から平成 28 年までの過去 15 年間の毎年 1～12 月の輸入総 CIF 金額の推移をグラフにより示したものが図 K ある。

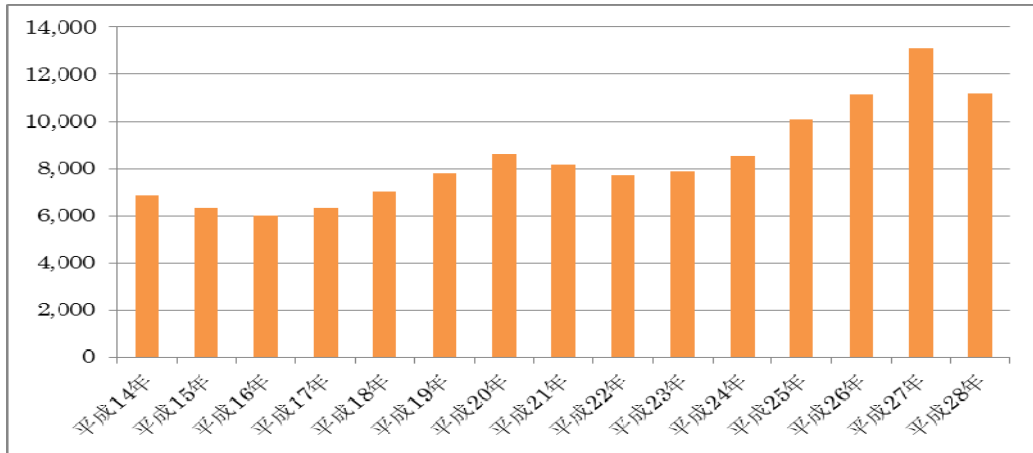
図 K 毎年 1～12 月の我が国自転車輸入総 CIF 金額の過去 15 年間の推移(単位：千円)
(「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 3 を基に平成 14 年から平成 28 年までの過去 15 年間の毎年 1～12 月の輸入平均 CIF 単価の推移をグラフにより示したものが図 L ある。

図 L 毎年 1～12 月の我が国自転車輸入平均 CIF 単価の過去 15 年間の推移(単位：円)
 (「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に月毎の輸入台数の過去 15 年間の推移を示したものが表 1 4 である。

表 1 4 月毎の総輸入台数(「その他のモーターサイクル」を含まない)
 の過去 15 年間の推移 (単位：台)

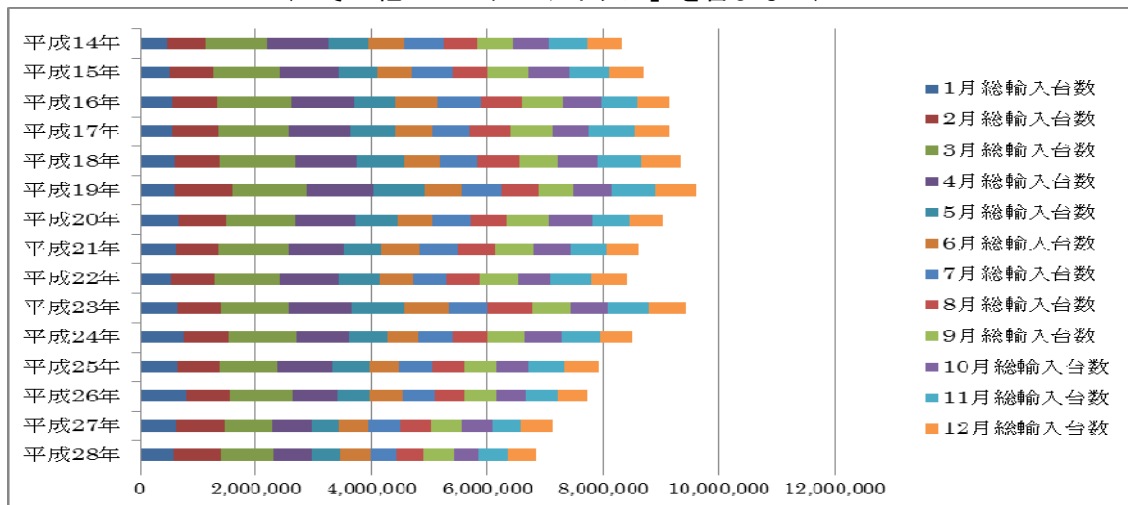
年	1月総輸入台数	2月総輸入台数	3月総輸入台数	4月総輸入台数	5月総輸入台数	6月総輸入台数
平成 28 年	559,379	823,009	916,762	673,000	493,417	507,531
平成 27 年	639,107	809,453	828,696	690,064	462,606	510,639
平成 26 年	800,012	758,904	1,067,576	783,049	546,090	581,432
平成 25 年	646,439	729,345	997,586	949,665	634,542	514,285
平成 24 年	759,838	779,645	1,156,072	904,565	672,252	525,908
平成 23 年	661,234	725,936	1,192,986	1,067,890	915,243	768,659
平成 22 年	529,116	759,113	1,140,340	1,002,806	691,515	600,223
平成 21 年	631,533	717,828	1,226,863	932,220	660,802	652,693
平成 20 年	679,048	809,921	1,195,076	1,041,042	718,439	623,626
平成 19 年	613,892	988,006	1,275,167	1,152,734	890,124	644,144
平成 18 年	602,545	765,063	1,303,124	1,075,231	796,610	633,795
平成 17 年	541,343	796,348	1,226,300	1,056,187	777,336	669,039
平成 16 年	556,120	767,570	1,280,277	1,081,557	727,411	723,301
平成 15 年	504,267	764,381	1,145,964	1,015,772	655,917	610,329
平成 14 年	462,594	682,561	1,051,785	1,037,903	705,257	618,883

年	7月総輸入台数	8月総輸入台数	9月総輸入台数	10月総輸入台数	11月総輸入台数	12月総輸入台数	総輸入台数
平成28年	460,740	464,093	509,475	438,628	518,622	484,729	6,849,385
平成27年	556,279	542,763	524,133	519,919	484,170	554,615	7,122,444
平成26年	572,129	504,218	543,409	502,832	540,165	534,548	7,734,364
平成25年	595,336	535,046	561,806	528,767	640,332	599,246	7,932,395
平成24年	586,024	629,284	631,719	642,217	649,625	562,295	8,499,444
平成23年	675,783	776,045	655,654	629,958	722,052	659,152	9,450,592
平成22年	562,581	582,646	663,734	546,459	719,973	603,440	8,401,946
平成21年	685,910	619,872	677,716	623,646	620,796	571,838	8,621,717
平成20年	646,395	612,531	729,659	770,349	625,626	582,061	9,033,773
平成19年	672,070	649,954	586,098	688,807	741,855	700,463	9,603,314
平成18年	643,767	724,797	673,445	684,487	767,415	668,893	9,339,172
平成17年	626,723	720,123	708,659	631,378	780,371	610,012	9,143,819
平成16年	755,089	715,190	699,179	653,057	648,234	531,426	9,138,411
平成15年	694,160	623,008	684,831	710,079	691,745	602,173	8,702,626
平成14年	678,438	585,452	634,374	597,460	671,907	599,479	8,326,093

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表14の月毎の総輸入台数の過去15年間の推移をグラフにより示したものが図Mである。

図M 月毎の総輸入台数の過去15年間の推移（単位：台）
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表15は、毎年1～12月の我が国の車種別の自転車輸入台数の過去15年間の推移について示したものである。

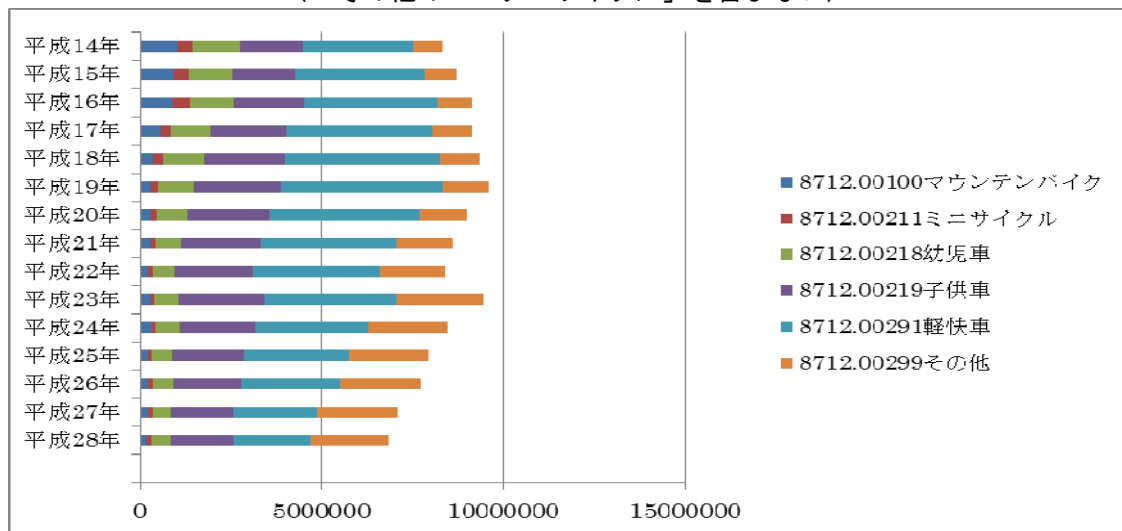
表 15 毎年 1～12 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 15 年間の推移（単位：台）
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

	8712.00100 マウンテン バイク	8712.00211 ミニ サイクル	8712.00218 幼児車	8712.00219 子供車	8712.00291 軽快車	8712.00299 その他	計
平成 28 年	176,823	157,870	538,880	1,690,152	2,129,712	2,155,948	6,849,385
平成 27 年	219,152	142,150	520,523	1,675,477	2,318,196	2,246,946	7,122,444
平成 26 年	227,054	130,205	581,229	1,881,428	2,682,510	2,231,938	7,734,364
平成 25 年	219,848	99,363	585,485	1,966,906	2,881,192	2,179,601	7,932,395
平成 24 年	325,828	92,405	692,111	2,075,504	3,094,262	2,219,334	8,499,444
平成 23 年	288,094	110,599	658,735	2,387,853	3,608,216	2,397,095	9,450,592
平成 22 年	225,716	124,094	613,003	2,133,052	3,526,359	1,779,722	8,401,946
平成 21 年	300,708	118,241	718,801	2,210,631	3,744,364	1,528,972	8,621,717
平成 20 年	296,984	157,596	832,968	2,299,371	4,106,823	1,340,031	9,033,773
平成 19 年	289,270	213,917	986,539	2,368,441	4,481,866	1,263,281	9,603,314
平成 18 年	376,390	263,380	1,134,179	2,236,065	4,247,509	1,081,599	9,339,122
平成 17 年	576,127	278,403	1,091,848	2,105,760	4,000,024	1,091,657	9,143,819
平成 16 年	904,165	476,528	1,196,247	1,928,895	3,675,231	957,345	9,138,411
平成 15 年	929,832	398,388	1,203,448	1,735,536	3,571,855	863,567	8,702,626
平成 14 年	1,038,877	411,716	1,318,150	1,690,663	3,042,743	823,944	8,326,093

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフで示すと図 N のようになる。

図 N 毎年 1～12 月の我が国の車種別自転車輸入台数の過去 15 年間の推移（単位：台）
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に参考まで毎年1～12月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の過去15年間の推移を表16に示す。

表16 参考 毎年1～12月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入の過去15年間の推移

年	総輸入台数	総CIF金額 (千円)	平均CIF単価 (円)
平成28年	98,479	3,066,752	31,141
平成27年	51,577	2,181,778	42,301
平成26年	55,407	2,274,630	41,053
平成25年	68,576	2,419,613	35,284
平成24年	56,926	1,790,778	31,458
平成23年	64,495	1,739,538	26,972
平成22年	81,562	2,019,273	24,758
平成21年	78,574	1,857,783	23,644
平成20年	62,653	1,406,288	22,446
平成19年	77,154	1,897,038	24,588
平成18年	91,244	1,694,266	18,569
平成17年	99,138	1,720,981	17,359
平成16年	129,625	1,905,545	14,700
平成15年	289,750	2,178,050	7,517
平成14年	511,632	3,404,782	6,655

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

3-4 我が国の自転車輸入における主要供給元

平成28年1～12月の我が国の自転車輸入に関し、その主要供給元を示したものが表17である。

表17 平成28年1～12月の我が国の完成自転車輸入 主要供給元
(「その他のモーターサイクル」を含まない)

供給元	台数	輸入総台数に 占める割合(%)	CIF金額 (千円)	輸入総金額に 占める割合(%)	平均CIF 単価(円)
中華人民共和国	6,616,349	96.6	63,829,782	83.4	9,647
台湾	213,965	3.1	11,305,944	14.8	52,840
その他	19,071	0.3	1,409,208	1.8	73,893
計	6,849,385	100.0	76,544,934	100.0	11,175

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

引き続き「中華人民共和国」が最大の供給元となっている。総台数の96.6%、総CIF金額の83.4%を占めている。平均CIF単価は9,647円であった。これに次ぐのが「台湾」で、総台数の3.1%、総CIF金額の14.8%を占めている。平均CIF単価は52,840円である。これら2つの国・地域で総台数の99.7%、総CIF金額の98.2%を占めている。

「中華人民共和国」からの車種別輸入状況は表18のようになっている。

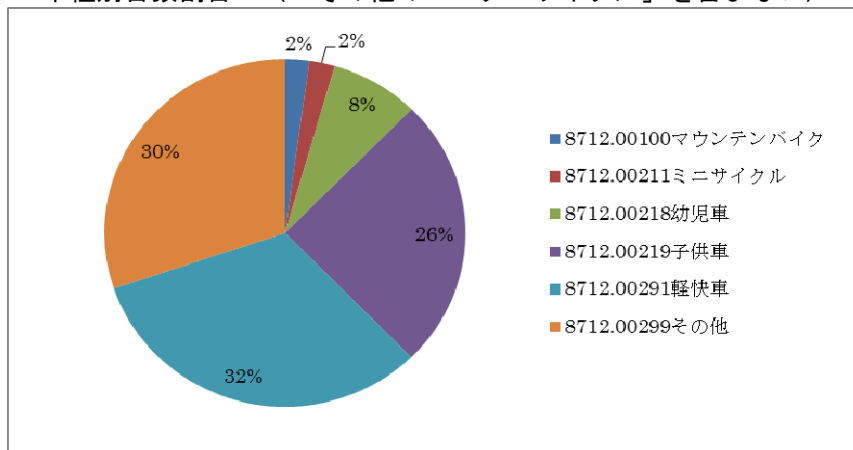
表18 平成28年1～12月の我が国の「中華人民共和国」からの完成自転車輸入
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

関税番号及び車種	台数(台)	総CIF金額 (千円)	平均CIF単価 (円)
8712.00100 マウンテンバイク	143,230	2,273,119	15,870
8712.00211 ミニサイクル	151,592	1,870,131	12,337
8712.00218 幼児車	523,998	3,358,521	6,409
8712.00219 子供車	1,673,906	14,433,215	8,622
8712.00291 軽快車	2,127,610	19,237,391	9,042
8712.00299 その他	1,996,013	22,657,405	11,351
計	6,616,349	63,829,782	9,647

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表18に示した平成28年1～12月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図Oである。「軽快車」が32%を占め、次いで「その他」が30%を占めている。「中華人民共和国」からの輸入台数が非常に多いため、我が国の全体の車種別輸入台数割合を示した図Hと似た状態が示されている。

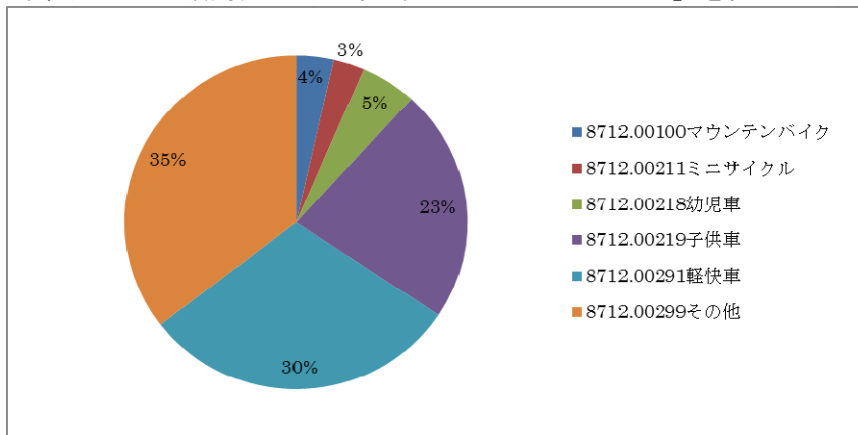
図O 平成28年1～12月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入
車種別台数割合（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表18に示した平成28年1～12月の「中華人民共和国」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図Pである。「その他」が35%を占め、次いで「軽快車」が30%を占めている。

図 P 平成 28 年 1～12 月の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入
車種別 CIF 金額割合（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて「台湾」からの車種別輸入状況を示すと表 19 のようになっている。

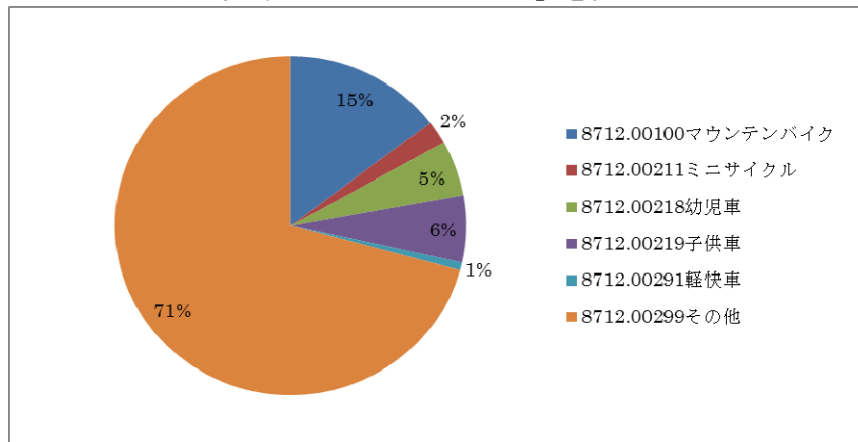
表 19 平成 28 年 1～12 月の我が国の「台湾」からの完成自転車輸入
（「その他のモーターサイクル」を含まない）

関税番号及び車種	台数(台)	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価 (円)
8712.00100 マウンテンバイク	31,284	1,196,909	38,259
8712.00211 ミニサイクル	4,764	149,368	31,353
8712.00218 幼児車	11,245	91,354	8,124
8712.00219 子供車	13,746	278,967	20,294
8712.00291 軽快車	1,545	50,471	32,667
8712.00299 その他	151,381	9,538,875	63,012
計	213,965	11,305,944	52,840

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 19 に示した平成 28 年 1～12 月の「台湾」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 Q である。全体の輸入状況を表した図 H や「中華人民共和国」からの輸入状況を示した図 O とは全く異なり、「その他」が 71% と大きな割合を占め、次いで「マウンテンバイク」が 15% を占めている。一方で、「軽快車」は僅か 1% を占めるにすぎない状況となっている。

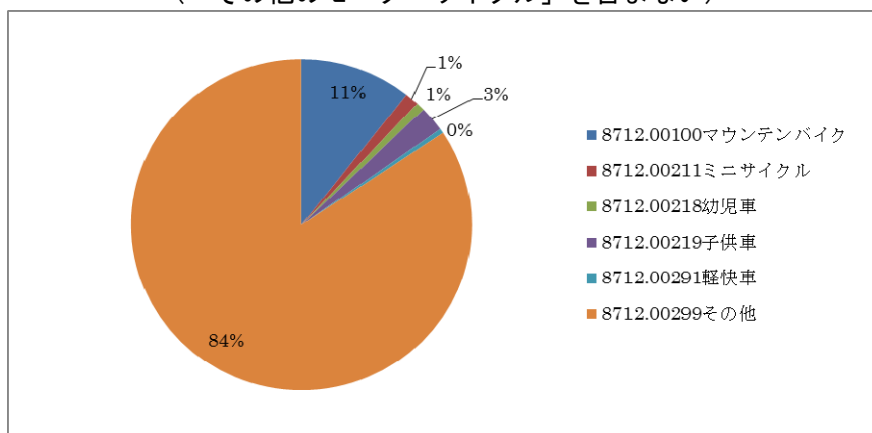
図 Q 平成 28 年 1～12 月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別台数割合
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 19 に示した平成 28 年 1～12 月の「台湾」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 R である。台数割合の場合より特徴が一層顕著に表れており「その他」が 84% を占めるに及んでいる。次いで「マウンテンバイク」が 11% を占め、「軽快車」はごく僅かである。

図 R 平成 28 年 1～12 月の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別 CIF 金額割合
（「その他のモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて参考まで平成 28 年 1～12 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の輸入に関し、その主要供給元を表 20 に示す。

表 20 参考 平成 28 年 1～12 月の我が国の「その他のモーターサイクル」の
輸入主要供給元 平成 27 年 1～12 月との比較

供給元	台数	輸入総台数に 占める割合 (%)	CIF 金額 (千円)	輸入総金額に 占める割合 (%)	平均 CIF 単価(円)
平 28.1～12 中華人民共和国	97,573	99.1	2,854,788	93.1	29,258
平 27.1～12 中華人民共和国	49,802	96.6	1,848,106	84.7	37,109
変化	47,771	2.5	1,006,682	8.4	-7,851
平 28.1～12 台湾	634	0.6	95,547	3.1	150,705
平 27.1～12 台湾	1,613	3.1	258,585	11.9	160,313
変化	-979	-2.5	-163,038	-8.7	-9,608
平 28.1～12 その他	272	0.3	116,417	3.8	428,004
平 27.1～12 その他	162	0.3	75,087	3.4	463,500
変化	110	0.0	41,330	0.4	-35,496
平 28.1～12 計	98,479	100.0	3,066,752	100.0	31,141
平 27.1～12 計	51,577	100.0	2,181,778	100.0	42,301
変化	46,902	0.0	884,974	0.0	-11,160

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

4. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。毎年 1～12 月の「国内向け数量」について、生産台数と輸入台数の相互比較が可能な過去 11 年間の推移を表 21 に示す。平成 28 年 1～12 月期の国内向け数量は 7,793,154 台で、過去 11 年間で最低となった。また国内生産比率は 12.1%であった。

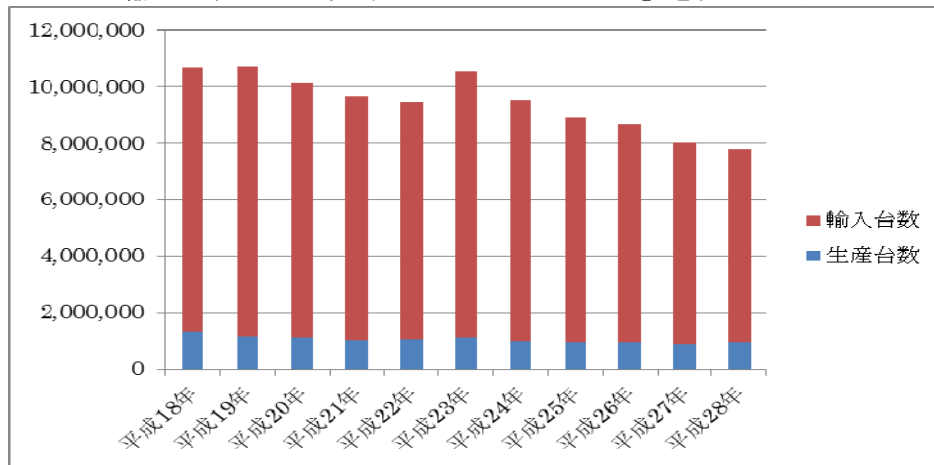
表 21 毎年 1～12 月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去 11 年間の推移
(生産台数には「電動アシスト車」を含み、
輸入台数には「その他のモーターサイクル」を含まない)

年	生産台数	輸入台数	国内向け数量	国内生産の比率%
平成 28 年	943,769	6,849,385	7,793,154	12.1
平成 27 年	898,095	7,122,444	8,020,539	11.2
平成 26 年	952,068	7,734,364	8,686,432	11.0
平成 25 年	962,206	7,932,395	8,894,601	10.8
平成 24 年	1,012,314	8,499,444	9,511,758	10.6
平成 23 年	1,101,666	9,450,592	10,552,258	10.4
平成 22 年	1,056,951	8,401,946	9,458,897	11.2
平成 21 年	1,049,469	8,621,717	9,671,186	10.9
平成 20 年	1,094,932	9,033,773	10,128,705	10.8
平成 19 年	1,135,606	9,603,314	10,738,920	10.6
平成 18 年	1,334,512	9,339,122	10,673,634	12.5

出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 27 年以前の数値は改定値）、
財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフにより示したものが図 S である。

図 S 毎年 1～12 月の我が国完成自転車の国内向け数量の過去 11 年間の推移
(生産台数には「電動アシスト車」を含み、
輸入台数には「その他のモーターサイクル」を含まない)



出典：経済産業省生産動態統計調査（平成 27 年以前の数値は改定値）、
財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

5. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。平成 28 年 1～12 月の我が国自転車輸出の主な仕向け先を表 2 2 に示す。平均 FOB 単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。尚、輸出に関する分析では「その他のモーターサイクル」は対象から除外している。

表 2 2 平成 28 年 1～12 月 主要仕向け先別の我が国の完成自転車輸出

仕向け先国・地域	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価 (円)
ミャンマー	503,809	727,780	1,445
ガーナ	471,968	719,943	1,525
アフガニスタン	353,181	488,303	1,383
カンボジア	350,770	572,489	1,632
タンザニア	305,070	611,977	2,006
イラク	208,697	436,698	2,092
ナイジェリア	178,502	307,919	1,725
UAE	176,770	290,332	1,642
フィリピン	153,346	249,176	1,625
タイ	121,245	302,290	2,493
その他	338,064	682,929	2,020
計	3,161,422	5,389,836	1,705

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 2 3 に平成 14 年から平成 28 年までの過去 15 年間の毎年 1～12 月の我が国自転車輸出の推移を示す。総台数は過去 15 年間で 3 番目、総金額は過去 15 年間で 2 番目となっている。平成 28 年 1～12 月の平均 FOB 単価は 1,705 円で、過去 15 年間でやはり 2 番目となっている。

表 2 3 毎年 1～12 月の我が国自転車輸出の過去 15 年間の推移 全車種

年	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
平成 28 年	3,161,422	5,389,836	1,705
平成 27 年	3,558,029	6,475,518	1,820
平成 26 年	3,301,193	5,128,144	1,553
平成 25 年	3,142,282	4,320,542	1,375
平成 24 年	2,980,626	3,863,945	1,296
平成 23 年	2,676,620	3,505,035	1,310
平成 22 年	2,393,342	3,180,711	1,329
平成 21 年	2,214,528	3,000,068	1,355
平成 20 年	2,283,080	3,773,228	1,653
平成 19 年	2,095,644	3,028,212	1,445
平成 18 年	1,340,136	1,467,329	1,095
平成 17 年	1,221,802	1,364,928	1,117
平成 16 年	1,009,023	1,259,526	1,248
平成 15 年	865,478	1,151,778	1,331
平成 14 年	646,597	828,013	1,281

出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

以 上